

軽度認知障害の方を対象とした ビフィズス菌による認知機能改善効果 に関する研究参加のご案内

試験責任医師

きしろメンタルクリニック 院長 木代 真樹



ビフィズス菌はヒトの腸内にすむ善玉菌として知られていますが、最近では腸内細菌がストレスや認知機能などの脳機能と関連があるという科学的な報告が相次いでいます。

この試験で摂取いただくビフィズス菌A-1は、これまで、アルツハイマー病モデル動物および軽度認知障害の方において認知機能の改善が認められています。

- 募集対象者：65歳から90歳までの方で物忘れが気になる方。
- 募集目標人数：20人
- 試験期間：令和2年1月～令和3年3月（内24週間）
- 試験内容：ビフィズス菌スティックを毎日飲んで、
3か月毎に認知テストと採血をします。

この研究に参加するかどうかはあなたの自由意思でお決めください。
不参加でも今後の治療には何ら支障はありません。尚、詳細については担当
医師にご相談ください。